

---

# ナニモイラナイカラ...

美奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ナニモイラナイカラ…

### 【Nコード】

N0282A

### 【作者名】

美奈

### 【あらすじ】

もういつ会ったのかも覚えてない貴方…。今の私には、ナニモイラナイカラ…。ただ……………

もういつから会わなくなった？

もういつから電話してない？

もういつから

約束しかしてない？

```
<center><h1>ナニモイラナイカラ...</h1></center>
enter>
```

いつも貴方は事件ばかり。

私の気持ち、わかっているでしょう？

なのに……どうしてよ……。  
どうして会いに来てくれないの……？  
私をからかっているの？  
心配する私を見て、笑っているの？

「ふう……。」  
今は部活中。

こうして体を動かしているときが一番哀しみを最小限に抑えられる。  
でも時には、昔の思い出を思い出してしまうときもある。

『ねえ、新一！明日の試合、見に来てくれる？』  
『行けたら行くよ。』  
『なによぉ。その曖昧な返事は。』  
『だって警部から呼び出しがあったら行けねーだろ？まあ、ないことを祈るけどな。』

ウソツキ……  
事件が一番大事なくせに……  
事件って聞いたら、どこにいても飛んでっつてしまっくせに……

もし、……もし本当に見に来てくれる気持ちがあるのなら……

『もし本当にそう思っているなら……明日一日……うっん、試合が  
終わるまででいいから、携帯の電源、切っておいてよ……。』  
『えっ。』

『何よ？変な顔して。』

無理よね……

新一にそんなことできるわけが……

『そつか……そうすりゃいいんだよな……』

『えっ???』

『いや、そんな風に考えてもみなかった……』

……はあ?!

なによ、そんなことも考えなかったの？

探偵のくせに!!!(?)

『ふっ……アハハハ……!』

『んだよ?』

『バツカみたい!そんなことも考え付かなかったなんて!』

『うっせーな!』

『……じゃ約束だよ?』

『あぁ……!』

「……………新一。」

じいじは直哉。

「…蘭……姉ちゃん？」

「こ、コナン君?! いつからいたの？」

「『新一』って言うところから。」

「そっか……」

「…新一兄ちゃんに、会いたい？」

俺に会いたい……のか？

「え？」

「どこにいるかもわかんないのに、会いたい？」

こんな体でしか、お前の側にいけないのに？

「うん。もし、新一に会えたら、それでいい。」

「え？」

「もうね、今は言葉も、約束もいらさないから、ただ、…今私の側に  
いてくれたら、それでいい。」

「そっか。……早く来てくれるといいね。」

早く戻れたらいいな…。

「うん…！」

私、もう何もいらさない。  
貴方を困らせるだけだったことはわかってる。

でも……

もう言葉なんかいらさないから……

約束なんかいらさないから……

ただ私の側について……

(後書き)

作者から

これは蘭ちゃんのお気持ちを想像して書いてみました。

どうぞしよろしく？

感想をくれたら嬉しいです！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0282a/>

---

ナニモイラナイカラ...

2010年10月16日00時56分発行